



懇親会 近藤会長挨拶



懇親会風景

に携わる筆者としても非常に参考になる講演であった。

今回のシンポジウムでは、各講演者とも、経営工学が従来にも増して社会のニーズに応えるためには、ソフトな問題に対する経営工学研究の一層の推進が必要である

と述べられていた。今回のテーマは、今後の経営工学を考えるうえで大変重要なテーマであり、企画・運営に努力された方々にこの場を借りてお礼を述べるとともに、来年も一層のご活躍を期待して、ルポの筆をおく。

学会ニュース

平成4年度支部総会報告(2)

中部支部

日時：平成4年3月14日(土)
場所：中部品質管理協会 第1研修室

1. 平成3年度事業報告

(1) 総会

1991年度総会は、1991年3月16日(土)、中部品質管理協会第1研修室において開催され、下記事項について審議承認された。

- ① 1990年度事業報告
- ② 1990年度決算報告
- ③ 1991年度事業計画
- ④ 1991年度予算

(2) 運営委員会

日時：1992年3月14日(土) 11:00~11:40
場所：中部品質管理協会 第1研修室
題目：(1) 1992年度総会議案の件

(2) 1992~1993年度役員選出

(3) その他

(3) 幹事会

① 日時：1991年4月20日(土) 12:00~13:30

場所：中部品質管理協会 第1研修室

- 題目：(1) 新旧幹事の引継ぎ
- (2) 1991年度の事業計画について
- (3) その他

② 日時：1991年11月16日(土) 12:00~13:30

場所：中部品質管理協会 第2研修室

- 題目：(1) 1992~1993年度役員選出について
- (2) 「オペレーションズ・リサーチ誌」の企画について
- (3) OR企業サロン、講演会について
- (4) その他

③ 日時：1992年2月24日(月) 13:30~15:00

場所：中部品質管理協会 会議室

- 題目：(1) 1992年度総会議案について

- (2) 1992~1993年度役員選出について
 (3) 支部研究発表会の準備について
 (4) その他
- (4) 支部研究発表会 (第18回)
 日時: 1991年3月16日 (土) 11:40~16:50
 場所: 中部品質管理協会 第1研修室
 参加者: 39名
 発表テーマと発表者 (所属)
 時系列モデルの検討 中村 正治 (名古屋銀行)
 かんばん枚数の最適化に関する研究
 小島 貢利 (名工大)
 混合品種組立ラインのバラシングに関する研究
 夏目 基 (名工大)
 多重プロセッサシステムの性能評価に関する研究
 平子 元己 (名工大)
 修理コスト限界を考慮した最適発注・取替え方策
 本田 稔 (名工大)
 ランダムにあるシステムの最適取替え
 馮 偉 (名工大)
 貯蔵品の点検方策 伊藤 弘道 (三菱重工)
 中川 覃夫 (愛工大)
 ベーシック手順における最適ブロック長の考察
 小池 慎一 (名古屋文理短大)
 安井 一民 (愛工大) 中川 覃夫 (愛工大)
 待ち時間の有無がサービス分布に影響する待ち行列について
 山田 浩司 (南山大)
 多変量解析による性格と服装の関連について
 木村 徳丸 (名古屋女子大)
 カンバン方式の協働工場における効率改善
 田中 雅章 (名古屋女子大)
- (5) 研究会
 4/20(13名) VLSIの配線の最適化について
 鈴木 教夫 (南山大)
 6/15(35名) CGによる景観シミュレーション
 曾山 豊 (中部電力)
 CGの最近の話題 松田 信之 (CTI)
 ソフトウェアの信頼性について
 尾崎 俊治 (広島大学)
 7/20(21名) 待ち行列モデルによる計算機システムの性能評価について
 中出 康一 (名工大)
 ファジィ情報理論について
 阪井 節子 (福井大)

- 9/21(21名) 連続時点マルコフ連鎖の推移確率の計算について 木島 正明 (筑波大)
 Long Term Portfolio Management
 Stanly R. Pliska (イリノイ大)
 11/16(13名) Two Armed Bandit Problemの1つの拡張について
 濱田 年男 (姫路短大)
 最適化問題における並列計算
 相良 信子 (愛知大)
 1/18(38名) 火力発電所定検計画作成支援システムについて 古川 孝 (中部電力)
 グラフの並列アルゴリズムについて
 増山 繁 (豊橋技科大)

(6) 講演会

- 日時: 1991年12月21日 (土) 13:30~16:30
 場所: 中部品質管理協会 第2研修室
 テーマ: ①「Recent Research of Reliability Theory and Operations Research in China」
 発表者: Jinhua Cao
 (中国科学院応用数学研究所)
 ②「A Generalized Model for Determining Optimal Number of Minimal Repairs before Replacement」発表者: Sheu Shey-Huei
 (国際台湾工業大学)

参加者: 10名

(7) 見学会

- 日時: 1991年5月18日 (土) 10:00~12:00
 場所: 桃花台新交通(株) 桃花台新交通システム
 参加者: 9名

(8) 刊行物

1. 支部ニュース (10回)
2. 第18回支部研究発表会アブストラクト集

2. 平成3年度収支計算報告

自1991年3月1日 至1992年2月28日 (円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	510,000	510,000	
講演会交付金	28,000	0	
利 息	3,500	4,032	
(1)合計	541,500	514,032	

(支出の部)			
会議費	20,000	22,480	総会、幹事会
講演会費	35,000	12,000	会場費、謝礼
事務費	165,000	170,000	事務委託料、封筒・用紙代
通信費	205,000	213,190	郵送料
印刷費	100,000	132,870	総会議案、アブストラクト
旅費交通費	20,000	0	
予備費	1,012	0	
(2)合計	546,012	550,540	
(3)当期運営残高	△4,512	△36,508	(1)-(2)
(4)前期繰越金	4,512	4,512	
(5)次期繰越金	0	△31,996	(3)+(4)

3. 平成4年度事業計画案

支部総会	1	回
運営委員会	1～2	回
幹事会	数	回
支部研究発表会	1	回
OR学会定例講演会	1	回
講演会	1	回
事例研究発表会	1	回
研究会	数	回
見学会	1～2	回
支部ニュースの刊行	12	回

4. 平成4年度収支予算案

(円)

科 目	金 額
(収入の部)	
前期繰越金	△31,996
本部交付金	567,000
講演会交付金	28,000
利息	4,000
合 計	567,004
(支出の部)	
会議費	20,000
講演会費	30,000
事務費	170,000
通信費	210,000
印刷費	115,000
旅費交通費	20,000
予備費	2,004
合 計	567,004

5. 支部役員

支部長	田中庸平
副支部長	沢木勝茂
運営委員	安達公一、飯田次生、榎本久徳、大野勝久、小谷重徳、玉置光司、辻 紘良、中川覃夫、中田友一、吉野玄一
監事	岩田 怜、日比野康文
幹事	中井恵一、石井芳裕、城野剛伸、穴太克則、大鑄史男
顧問	小野勝次

東 北 支 部

日 時：平成4年6月4日(木) 15:30～15:50

場 所：東北電力情報通信部会議室(新館5階)

1. 平成3年度事業報告

(1) 総 会

3年5月21日(火)15時30分より東北電力会議室において開催し、下記議案について審議し、承認された。

- ① 平成2年度事業報告ならびに決算報告
- ② 平成3年度事業計画案ならびに予算案
- ③ 支部役員の選出について
- ④ 平成4年度春季研究発表会実行委員の選任について

(2) 運営委員会

- 3年5月21日(火)：総会提出議案について審議した。

(3) 幹 事 会

- 3年9月25日(火)：特別顧問松田彰氏ご逝去に対する学会対応について協議した。
- 3年10月21日(月)：特別顧問松田彰氏の合同葬儀への対応について協議した。春季研究発表会の特別講演者開催場所について協議した。
- 4年3月9日(火)：研究発表プログラム作成について協議した。
- 4年4月15日(水)：春季研究発表会の個別分担、準備状況、要員手配について協議した。
- 4年5月8日(金)：春季研究発表会の全体スケジュールの確認を実施した。

(4) 実行委員会

- 3年7月22日(月): スケジュール, 役割分担, 予算, 特別テーマ, 特別講演者, 副実行委員長の人選について討議した。
- 3年11月20日(水): 特別講演者への依頼, 見学会所選定, 事務局員の増強について討議した。
- 4年1月28日(火): 役割分担, 要員の手配, スケジュール, 見学会について討議した。
- 4年3月25日(水): 各役割分担での進捗状況確認と対応策について討議した。
- 4年4月24日(金): 各役割分担での進捗状況確認と対応策について討議した。

(5) 講演会

- 日時: 平成3年5月21日(火) 総会終了後, 同会場において開催した。
- 講師: 日本IBM株式会社 外山 和之
- 演題: 構造マトリックスによる
経営管理システムのアプローチについて

(6) 研究会

- 第57回4年3月25日(水) 15:00~16:00
(東北電力㈱ 会議室)
東北大学教養学部講師 増田 聡
ECQ-QCの展開による環境優先時代の企業戦略 32名

(7) 懇親会

3年5月21日(火) 総会終了後開催(参加者22名)

(8) 会員の状況

会員78名 賛助会員6社(東北電力, NTT東北支社, 通研電気工業, 東北コンピュータ・サービス, 河合塾文理学院, 東北システムズ・サポート)

2. 平成3年度収支計算報告

(1) 貸借対照表

平成4年2月29日現在(円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 貯 金	△849	前期繰越金	11,496
		当期運営残高	△12,345
合 計	△849	合 計	△849

(2) 収支計算書

平成3年3月1日~平成4年2月29日 (円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	304,000	304,000	
利 息	504	2,466	
(1)収入合計	304,504	306,466	
(支出の部)			
会 議 費	117,000	170,330	総会, 運営委員会 幹事会他
講 演 会 費	20,000	43,775	講演会
研 究 会 費	100,000	63,500	OR研究会(3回)
印 刷 費	2,000	0	総会資料, 総会議 事録他
通 信 費	30,000	22,079	はがき, 切手代
交 通 費	45,000	19,127	支部長会議交通費 他
事 務 費	2,000	0	事務用品
予 備 費	0	0	
(2)支出合計	316,000	318,811	
(3)当期運営残高	△11,496	△12,345	(1)-(2)
(4)前期繰越金	11,496	11,496	
(5)次期繰越金	0	△849	(3)+(4)

3. 平成4年度事業計画案

- (1) 総 会 1回開催
- (2) 運営委員会 随時開催
- (3) 幹 事 会 随時開催
- (4) 講 演 会 2回程度開催(企業団体等との共催を含む)
- (5) 研 究 会 3回程度開催(研究成果発表, 素材提供および自由討議等による研究)
- (6) OR普及活動 大学, 企業, 団体など各職場の実情にあった普及活動を積極的に行なう。
- (7) 会 員 増 強 上記活動, その他を通じて, OR学会への入会勧誘を行なう。
- (8) 親 睦 行 事 会員の親睦を図るための行事を1回程度行なう。

4. 平成4年度収支予算案

(円)

科 目	予 算	前年度 予 算	増 減	備 考
(収入)				
前期繰越金	△849	11,496	△12,345	
本部交付金	304,000	304,000	0	
利 息	449	504	△55	

合計	303,600	316,000	△12,400	
(支出)				
会議費	120,000	117,000	3,000	総会、運営委員会、幹事会
講演会費	30,000	20,000	10,000	講師謝礼、旅費
研究会費	100,000	100,000	0	講師謝礼等
印刷費	2,000	2,000	0	総会資料他
通信費	10,000	30,000	△20,000	ハガキ、切手代
交通費	41,000	45,000	△4,000	支部長会議旅費他
事務費	600	2,000	△1,400	事務用品費、消耗品費他
予備費	0	0	0	
合計	303,600	316,000	△12,400	

5. 平成4年度春季研究発表会の実施概要について

- (1) 主催：日本オペレーションズ・リサーチ学会
- (2) 開催日：平成4年5月12日(火)～15日(金)
- (3) 会場：仙台市民会館(仙台市青葉区桜が岡公園4番1号)
- (4) 日程：以下省略

6. 支部役員

支部長 幕田圭一
 副支部長 奈良久、岡村敏光
 運営委員 荻野正浩、木村正行、熊谷和夫、後藤義雄、尾田栄章、千葉信亮、鈴木義也、小園文典、高橋幸雄、竹内清、田中謙輔、手島恒男、山本保、瀬戸長彦、渡利千波、岩田恒一、御園生善尚、福山年昭、鈴木宏輔
 監事 千葉雅保、関田康慶
 幹事 神正照、鈴木久才、武藤滋夫(幹事長)、鈴木康彦、瀬戸口良三、笹村莞司、熊本義信、鈴木隆志、高橋長雄、石川明彦、谷内正文、稲葉輝雄、青木茂、小林康幸、増田聡、大西匡光
 顧問 遠藤市彌、和田秀三、小川久、富田耕造、御園生善尚、竹内清、斎藤浩、中澤博司

北海道支部

日時：平成4年4月3日(金)
 場所：北海道電力北二条クラブ

1. 平成3年度事業報告

(1) 通常総会

日時：平成3年4月25日(木)

場所：ホテル札幌会館

(2) 運営委員会

① 日時：平成3年4月25日(木)

場所：ホテル札幌会館

② 日時：平成3年12月13日(金)

場所：北電北二条クラブ

(3) 講演会

日時：平成4年2月7日(金)

場所：北海道大学学術交流会館

題目：Stochastic Models for Securities Markets

講師：イリノイ大学教授・S. R. Pliska

題目：金融機関におけるAI適用と開発について

講師：(株)北海道拓殖銀行上席調査役

上田 捷義

(4) 普及活動

以下の事業に協力・後援を行なった。

① 地方開催第3回企業サロン

日時：平成3年9月27日(金)

場所：北方圏センター

テーマ：S I Sの考え方とその実例

講師：日経コンピュータ副編集長

上村 孝樹

(株)日通総合研究所常務取締役

忍田 和良

② 定例講演会

日時：平成3年12月13日(金)

場所：北電北二条クラブ

題目：最良優先探索法による時間割スケジューリング

講師：北見工業大学教授 藤原 祥隆

③ 「ORの計算環境」研究部会

平成3年4月～平成4年2月の間に計8回実施

2. 平成3年度収支決算報告

(1) 貸借対照表

平成4年2月29日現在 (円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	17,564	前期繰越金	647,183
預貯金	662,633	当期運営残高	33,014
合計	680,197	合計	680,197

(2) 収支決算書

自平成3年3月1日
至平成4年2月29日 (円)

科 目	予算額	決算額	備 考
(収入の部)			
本部交付金	237,600	237,600	
参加費	90,000	78,000	懇親会
利息収入		10,253	
(1)合計	327,600	325,853	
(支出の部)			
会議費	150,000	107,546	総会
講演会費	60,000	133,414	謝礼, 懇親会
研究会費	60,000	0	
通信費	50,000	36,020	切手代
交通費	10,000	0	
事務費	10,000	15,859	封筒代他
予備費	84,783	0	
活動積立金	550,000	0	
(2)合計	974,783	292,839	
(3)当期運営残高	▲647,183	33,014	=(1)-(2)
(4)前期繰越金	647,183	647,183	
(5)次期繰越金	0	680,197	=(3)+(4)

3. 平成4年度事業計画案

(1) 研究会

平成4年度は1～2回実施する。

内容については別途検討する。

(2) 講演会

平成4年度は1～2回実施する。

演題および講師については別途検討する。

(3) 普及活動

研究部会等を通して適宜実施する。

4. 平成4年度収支予算案

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	680,197	会議費	100,000
本部交付金	237,600	講演会費	110,000
参加費	90,000	研究会費	40,000
		通信費	50,000
		交通費	10,000
		事務費	10,000
		予備費	37,797
		活動積立金	650,000
合 計	1,007,797	合 計	1,007,797

5. 支部役員

支部長 関口恭毅

運営委員 浅利英吉, 五十嵐日出夫, 石塚文嘉, 伊藤正義, 大内東, 加地郁夫, 河口至商, 川向史矩, 北川正彦, 佐藤馨一, 高野伸栄, 谷口君雄, 千葉博正, 堂柿栄輔, 長津行高, 行方常幸, 沼田久, 長谷川淳, 元谷靖宏, 山田修, 山村悦夫

幹 事 大堀隆文, 若林信夫, 木村俊一, 吉野孝行

監 事 竹内俊正

